



学校紹介 大垣市子どもたちが、学校で元気に学んでいます

興文中学校 防災訓練

3年生が地域の方と共同で防災訓練を行いました。中学校を避難所としたとき、子どもたちがどのように動けばよいのか、どんな働きができるのかを考える機会になりました。避難した人の状況や状態をまとめる名簿班、避難所の更衣室、授乳室などの場所について考えるレイアウト班、食事を提供する調理班などを体験しました。この訓練を通して、「任せられる中学生」、「頼れる中学生」になるためには、日常から地域の人とつながりを強めていくことの大切さを学びました。



綾里小学校 みんなでトレーニング

「(のぼり棒)赤まで行ったぞ!」「20秒ぶら下がった!」運動委員会が中心となり、中休みに、うんてい、のぼり棒、鉄棒などを使って到達する高さやぶらさがる時間などにめあてをもち、全校サーキットトレーニングを行っています。一人ひとりが目標をもって元気に挑戦しています。



スポーツ スポーツ推進委員を紹介します!

スポーツ推進委員は、教育委員会からの委嘱を受け、市民の皆さんの体力向上や健康増進を目指して、各種スポーツ事業の企画運営や実技指導などを行っています。大垣市では現在、63人の委員が活躍しています。

最近では、スポンジボールを手で打ち合う「タスポニー」の普及に取り組んでおり、交流会なども実施しているほか、大垣駅通りで開催される元気ハツラツ市の会場などで、年に3回ほど「みんなのスポーツ」と題した軽スポーツ体験会も実施し、多くの人たちに楽しんでいただいています。

ぜひ、参加してみてください。



元気ハツラツ市での軽スポーツ体験会



タスポニー交流会

大垣市教育委員会

〒503-8601 大垣市丸の内2丁目29
TEL(0584)47-8022(直通) FAX(0584)82-6385
Email: kyouikusyomuka@city.ogaki.lg.jp

みんなで築こう人権の世紀
～考えよう 相手の気持ち
未来へつなげよう 違いを認めよう～

大垣市教育委員会だより

はぐくみ

vol.14

発刊
令和2年
3月



プログラミング教育が始まりました!

大垣市では、新学習指導要領の全面実施に先駆けて、2019年度から全小学校でプログラミング教育が始まりました。

各小学校では、総合的な学習の時間や教科等の時間にプログラミング教育を行っています。総合的な学習の時間にはドローンやロボットカーを使って、教科等の時間には教科で使えるプログラミング教材などを使って学習しています。

これらの学習を通して、プログラミングの働きやよさに気づき、より積極的にプログラミングにかかわろうとする態度を高めていきます。また、論理的思考力を育成し、各教科の学びをより確実なものにします。

教育委員がプログラミングを使った理科の授業を参観しました!

1月29日(水)に、教育委員が青葉小学校を訪問し、プログラミングを使った6年生の理科「電気と私たちの暮らし」の授業を参観しました。

これまでに、子どもたちは、電気をつくりだしたり蓄えたりできること、光、音、熱、運動などに変換できることなどについて学習してきました。

今回は、玄関などにある人感センサーで点灯する照明が、どのような条件で点灯させれば効率よく使えるかを考え、実験しました。



(プログラム例)

ずっと繰り返す
 (人との距離が 100 cm以下ならば)
 スイッチを入れる
 10 秒待っ
 でないならば
 スイッチを切る
 1 秒待っ

その際、手との距離が100cm以下になればスイッチが入るなどといった「命令」をどのように組み合わせればよいのか考えてプログラミングをしました。

授業の最後には、「手を近づけたら、電気が点くようにプログラミングすることができました。私の家の玄関の明かりもこうやってプログラミングされていて、電気を効率よく使えるようになっていたのだと思いました。」という感想がありました。

授業を通して、子どもたちは、身近なところでプログラミングによって制御された照明などが活用されていることや、電気を効率的に利用できるようプログラムが工夫されていることなどに気付くことができました。

授業を参観した教育委員からは、「楽しく、意欲的に取り組んでいた。」「思考錯誤を繰り返しながら、論理的に考える力を身につけていた。」という感想が聞かれました。



文化 身近な公園に残る古墳 —古墳に対面! 古墳と対話!—

岐阜県最大の前方後円墳 —屋敷大塚古墳—

歴史公園として整備された古墳の頂上に登ると、伊吹山や関ヶ原そして金華山などが、360°のパノラマで目に飛び込んできます。古墳は有力者の墓である一方、人々に見せるための政治的なモニュメントと考えられていますが、このことが復元された埴輪や葺石からもよく理解できます。

埋葬された三人の人物については伝承や文献にも残らず詳しいことはわかりませんが、なぜこの地に巨大な前方後円墳が作られたのか。古墳に立って想像するのも楽しい時間です。



屋敷大塚古墳付近の散策コース



遠足「ふるさと大垣科」で訪れる児童ら



古墳のペーパークラフトが歴史民俗資料館で作ることができます



出土品は歴史民俗資料館に展示してあります

身近な公園の高まりが古墳 —大塚1号墳—

屋敷大塚古墳から100m東に「屋敷第2公園」があります。公園の小高い山は大塚1号墳として整備されています。発掘調査によって方墳と判明し、祭祀に使われた壺から5世紀の後半に作られたこともわかりました。一辺が20m以上にもなる古墳には深い堀がめぐらされています。今は樹木や草地に覆われていますが、現地にかつての姿を想像してみてください。



旧早野邸(岐阜大学セミナーハウス)では、大塚1号墳などの出土品を見ることができます

公園のなかの巨石墳 —車塚古墳—

さらに大塚1号墳から200m南に入った住宅街には、「屋敷車塚公園」があります。ここには金生山の石灰岩を積み上げた横穴式石室がひっそりと佇んでいます。かつての盛土は失われ、石室のみが露出しているのです。この状態は奈良県石舞台古墳をイメージするとわかりやすいと思います。古墳は24mの方墳か円墳と考えられ、明治には金銅製の馬具も出土しています。7世紀初めの有力者の古墳であることは間違いありません。



車塚古墳

歴史民俗資料館では講座を通じて古墳の見学会を行っています

屋敷大塚古墳周辺にはこうした古墳が4世紀から5世紀、そして7世紀にわたり作られて今に残っています。この地を治めた豪族に想いを馳せながら、ぜひ古墳散策を楽しんでいただきたいと思います。



体験 上石津町産の木材を求めて!!

1月28日(火)に、多良小学校5年生17名が、オープンしたばかりの大垣市役所新庁舎を見学しました。

今回の市役所訪問のキーワードは、「地場産業と先端技術を生かした庁舎を見学する」です。

多良小では社会科「わたしたちの生活と森林」の単元で、地元にある豊かな森林資源を活用して学習しています。今年度も西南濃森林組合の方を講師に迎え、地元の山で、枝打ち見学や間伐した木に鋸を入れる体験、さらに全員で植樹の体験をしました。

これらの活動を通して、森林の育成や保護に取り組む人々の努力や工夫についての理解を深め、ふるさと大垣への思いを強めてきました。

新庁舎見学では、議場の壁や天井、市役所内の椅子やベンチなどいろいろなところに上石津町産の木材が使用されていることを発見しました。子どもたちからは「上石津の人々が大切に育てた木がたくさん使用されていることに、とても驚きました。」という感想がありました。

また、新庁舎の入り口の案内ロボットやキッズスペースの読み聞かせをしてくれるロボットなどにも興味をもち、「最新の技術が使われていてすごいなあ」といろいろな体験をすることができました。



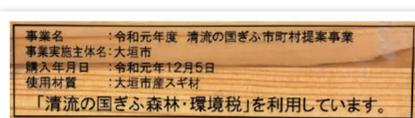
植樹の様子



間伐した木に鋸を入れる児童



この木材はどこのかな



「清流の国ぎふ森林・環境税」を利用してあります。

全て、このようなシールが貼ってあります

